

釣塔大学新聞

入学試験を間近に控えた今月二十八日、衝撃的なニュースが飛び込んできた。

なんと釣塔大学の今年の入試問題が漏洩していたというのだ。

新聞部の取材に対して大学の受験担当者は「ノーコメント」を貫き通しており、学生や受験生から、大学側の姿勢に対しても厳しい批判の声が上がっている。

大手予備校の関係者は「釣塔大学の入試問題は

釣塔大学の入試問題が漏洩

毎年凝ったものが多いので作成に時間がかかる。漏洩が事実であるならば、今から新しい問題を作るのは難しいと思うので、万一のための予備問題を作成時に選考段階で却下された問題の中から当日は出題されるのではないかと思われる。いずれにせよ、この漏洩した問題によって今年の傾向はわかってしまったので例年よりも平均点はグッと上がることになるだろう。」と語っている。

安甲講堂建設現場で鉄骨が落下

学生一人骨折

二十六日安甲講堂の建設現場で鉄骨が落下し、下を歩いていた軍事学部の学生一人が腕の骨を折るけがをしていたことが分かった。

この事故は釣塔大学の五十周年に間に合わせるために、突貫工事を行っており、足場の固定が不十分だったことが原因とされている。

なお、安甲講堂の工事現場の東里野系主任は業務上過失傷害の容疑で逮捕された。

講演遂に五百回に

比企氏と盛岡氏が講演

フィッシング研究の第一人者の比企新人博士とウイルス研究の権威の盛岡全治素博士により、フィッシング心理学とインフルエンザの対処法、またそれらの因果関係についての講演が行われた。

この講演は、釣塔大学創立後五百回目の講演であったため講演後に大隈講堂の脇にガッチャピン学長の銅像が設置された。

露草留紺流

今年の大学入学に関する試験の不備が目立つ。一次試験の再受験、塔大にだけ限って言えば試験問題の漏洩などがあり受験生の大学に対する不信感が高まっている。試験問題に関しては、大学側からの説明もない。今後の大学の対応如何によっては、塔大の信用を大きく崩してしまうのではないか。

一度崩れた信頼を取り戻すのは大変だ。大学には慎重な対応が望まれる。

食堂で謎の腹痛が続出

原因は新メニューのイマキタの刺身弁当か

料理長「直ちに健康への影響はない」

レストラン水鳥で食事をした後、腹痛を訴える学生が続出している。新メニュー「イマキタの刺身弁当」の販売を開始した直後の事件のため、因果関係が疑われている。

レストラン水鳥では一月中旬から

食事をした後、腹痛を訴えるという事件が相次いでいる。主な症状は、下痢、嘔吐、手足のしびれなどである。

料理長はこの事件について「偶然料理を食べた人が腹痛になったただけかもしれないだろう。言いがかりはよしてくれ。仮に、いか飯にだぞ、もし仮に、この魚の肝臓にテトロドトキシシンが入っていたとしても、この量なら直ちに健康への影響は出ないはずだ。変なことを記事にしたら営業妨害で訴

えるからな。」と怒鳴り散らした。

ウイルス総合研究所の研究者は「ええ、この魚からは何も出ていませんよ。テトラミンやサキシトキシシンが検出されたりはしていませんし、ましてやテトロドキシシンが検出されてなど絶対ありません。SNGY?なんですか?それは。そんな物知りませんよ。」と額に脂汗を浮かべながら語った。

ウイルス総合研究所によって調査が進められているが、原因ははっきりせず、ただの偶然なのではないかという意見が現在主流である。



お知らせ & お願い

投票日・時間 **2月2日(木) 0:00~23:00**

【人気トーナメント】 ニュース速報+板は、上記日程で本選トーナメント1回戦が行われます。CCさくら板、ギャルゲー板が相手で、かなりの苦戦が予想されます。(詳細はトーナメントスレまで)

ご迷惑をおかけしますが、皆様のご協力をありがとうございます。